

曹洞宗新潟県第四宗務所 所報

～和顔愛語～

—— 第2号 ——

発行 〒956-0862
新潟県新潟市秋葉区新町2-5-51
観音寺内
曹洞宗新潟県第四宗務所
☎ (0250) 47-3141
FAX (0250) 47-3142
HP <https://soto-niigata-4.jp>
E-mail info@soto-niigata-4.jp
題字揮毫 耕雲寺 菊地光彦老師



《血脈授与 宗務所梅花流奉詠大会 大遠忌報恩梅花授戒会にて》

所長挨拶



ご挨拶

第四宗務所所長

第二教区
観音寺住職 阿部 正機

新年を迎え静かな春の足音を感じる好時節、管内ご寺院諸老師をはじめ、ご山内寺族様、檀信徒皆様におかれましては、愈々ご清栄の事と拝察、大慶に存じます。また、平素より宗務所に對しましてご支援ご慈愛を賜り、心より御礼申し上げます。

この所報は十二月発行（今回号は一月発行）であり、昨年（令和五年）暮れに無事第一号発行に漕ぎ着け、安堵しての年越しをしたのも束の間、元日に能登半島地震が被災いたしました。管内におきましても四十六のご寺院様、数は充分に把握できませんが多くの檀信徒皆様が被害に遭われ、衷心よりお見舞い申し上げ、早期復興をお祈りいたしますのでございます。

不穏な年の始まりではありましたが、石川県輪島市總持寺祖院へお見舞いに拝登し、倒壊している伽藍などに心を痛めていると、その奥の方で大祖堂が堂々と佇んでおりました。そのお姿に復興へ向けた大いなる力をいただきました。昨年は大本山總持寺開山太祖瑩山紹

瑾禪師七〇〇回大遠忌正當の年、ご本山では本法要をはじめ各行事が粛々と行じられ、当宗務所も大遠忌記念の年と位置づけ、事業を展開させていただきました。

予算所会において事業承認をいただき、「大いなる足音を繋ぐ」をテーマとしました。先ずもって前年から準備を進めてまいりましたテレホン(WEB)法話を開設し、管内宗侶が奮闘しており、皆様のアクセスが応援となります。

「檀信徒地方研修会」では、DVD「三遊亭円楽・瑩山禪師の足跡を訪ねる」を視聴いただき、その中に出演している總持寺單頭役寮の柴田康裕老師より引き続き講演を賜りました。「現職研修会」は越後四箇道場慈光寺様と田上東龍寺様を会場とし、交流を深める目的で一泊二日で開催、總持寺西堂青山俊董老師には力強く宗侶へ訓戒を含んだ教えを説いていただきました。「寺族研修会」は、当初より石川県内の太祖様の足跡を拝登する予定を変えずに、能登半島地震の追悼・復興を加えての内容とし、心に触れる研修となりました。

「檀信徒総括研修会」「第四宗務所梅花流奉詠大会」は太祖様が宗門の授戒会の礎を築かれたことへの報恩行として、授戒を取り入れた差定とし、説戒を増田友厚老師にお勤めいただき、時間には制限があるものの深く掘り下げた授戒会を修行でき、お支えいただいた皆様に深謝いたしております。

各事業については後ページに感想文など詳細を紹介させていただいており、宗務所ホームページにても随時事業案内や報告を、動画も交えて発信しておりますので、情報共有いたし

たく、是非アクセスいただければ幸いです。

また、第四宗務所継続事業として「北朝鮮による拉致問題」解決に向けた、署名とブルーリボン着用運動の取り組みを随時行っておりまして、ご支援をお願いいたします。

四年任期の折返しとなりました。宗務所役職員も管内ご寺院関係皆様のお力になれるよう、宗務所軸であります「和顔愛語」をもって、進達などの執務や実りある事業企画などの職務を誠心誠意努めさせていただきますので、管内皆様には何卒ご指導ご愛を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、管内各位の法躰堅固・福寿無量、貴山のご隆昌を祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

参与挨拶



ご挨拶

宗議会議員
第十七教区
法蔵寺住職 藤間 良信

新たな年を迎え、管内ご寺院の皆様、護持会各位に於かれま

しては恙なくご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今次宗務所も折り返し地点を通過し、所長老師の親切な指揮のもと所員一丸となって事業に取り組み、適切に運営されておりますこと同慶に存じ上げます。

さて、世界に目を向ければまだ収束の見えないロシアの一方的なウクライナに対する侵攻、イスラエルとパレスチナ問題などで中東全体が戦火に包まれる懸念が高まっています。罪のない幾万の一般市民が命を奪われる悲惨な光景がメディアを通して目の当たりにし、まさに人間の愚かさが見え隠りになっていきます。

報復の連鎖だけでは何事も解決されません。更に各地域の内紛による難民の増加も大問題です。

一方、国内でも様々な事件が勃発していますが、特に最近SNSに翻弄された『闇バイト』による強盗事件が脅威となっています。逮捕されたあどけなさが残る青年の顔がアップでテレビに流れます。気軽なゲーム感覚にしては人生を大きく左右される行動に、加害者親族の心境を察するに余りあります。いち早く指示役のトップを捕えて壊滅しなければなりません。

ところで私は学生の頃一年間世田谷の豪徳寺でお世話になったことがあります。その折、掃き掃除をしていると決まった日

時にとあるお婆さんがご自分の墓地の前でお線香と供物（お菓子）を供え語り合っているのかブツブツと喋り、最後に供物を美味そうに食べ終わってから供物を乗せた部分を拭いて帰りま

す。当初私はお婆さんの行動にいささか疑問を感じていましたが、馬齢を重ねてその年齢に近づいてようやく理解できました。お婆さんはご先祖たちと楽しくお話をしていたのだと。同じものを食し心を通わせていたのだと。

仏教は中国を経て日本に上陸しましたが道教や儒教の影響を多分に受け、先祖崇拜も取り入れ定着してきました。これは本来の仏教ではないという知識人もいます。

しかし生活苦により犯罪に手を染めようとする若人が、もしご先祖と対話をしていたら道を踏み外さなくても済んだでしょう。犯罪抑止の効果は絶大です。ご先祖を拝むことは、実はご先祖から拝まれているのです。冷静な判断に促され全うな生き方を選ぶでしょう。自治体の福祉は決して一市民を見捨てません。夫婦別姓や同性婚など諸課題が山積し、社会の中心が家から個に移り行き価値観の多様性が求められる現代、仏教者として何を発信すべきかを模索しなければならぬと思います。

ご挨拶



宗議会議員

第八教区
養蔵寺住職 乙川 良介

現宗務所も発足から二年が経過致し、折り返し点に差し掛かりました。

本年四月からスタートしたテレホン法話『和尚さんの言の葉』は、十一月末までに二十四名の青年宗侶がそれぞれの見地から尊い法を説かれ、更に継続されることにより、将来の布教展開へ大きな布石となります。今後の期待大なるものがあります。

また、十一月に開催された檀信徒総括研修と梅花流奉詠大会において、大遠忌報恩授戒会が修行され、従来の寺院という限られた教場に囚われず、人々が参集し易い公共の大会場においても、そこに三宝が備われば授戒会開催が十分可能であるという新しい方向性を示されたことは、今後の宗門への試金石となつたはずであります。

本年は大本山總持寺開山太祖瑩山紹瑾禪師七百回大遠忌の年でありますが、元日に能登半

島を震源とする大震災により多くのご寺院が被災し、二〇〇七年の能登半島地震で損壊しながらも、漸く修復を果たしたばかりの總持寺祖院も再び甚大な被害を受けましたが、幸いこのたび国の重要文化財に指定されたことにより、国から修理費用の七割前後の負担が見込まれるとの朗報であります。

宗務総長はソータービルの今後の在り方について今年二月に総特審の答申を受け、今後十年をめどにビルを建て替え、それまでのホテル運営を第三者に委託する方針を定め、六月の通常宗議会で運営委託を三社に絞り、さらに一社を第一交渉権者として協議を進めておりましたが、契約上の問題からビル運営計画の業務委託を解約し振出しに戻り見直しは立つておりません。

最後にあまりにも衝撃的なことでありますが、今年の両大本山の新到安居者数は合わせて八十四人であつたところ、宗務庁運営企画室の予測によれば二十年後の二〇四五年には約五割減少し、合わせて四十二人程度の安居者数となる見込みで言葉がありません。



護持会長挨拶



ご挨拶 人生の不安

第四宗務所護持会会長

第三教区 洞泉寺檀徒 栗原 博久

人生一〇〇年時代と云われますが、七七才となりますと老いでの不安を自然と考える日が多くなりました。悩み、迷い、葛藤しつつ残余の人生をどう歩もうかと。あとの人生を社会のために何が出来なのか。自問自答を繰り返しております。

インドの達磨大師は「人々の不安は外からやって来るのではなく、自分の心が作り出す幻想にすぎない。不安の原因はどこにあるのではなく、自分の思いにある。」と説かれています。だから「なるようになるんだ」とのことでしょう。このことで不安から少しは解放されるのではないのでしょうか。

昨年、令和六年は曹洞宗信徒にとりましては意義深い年であ

りました。曹洞宗総持寺開山太祖瑩山紹瑾禪師七〇〇回大遠忌法要の年であり、瑩山禪師のお教えに改め深く接しさせていだきました。私自身も昨年は大本山総持寺に二度の参拝の機会を得させて頂きました。

実は私自身もかつては不安の連続の時代があり、自ら死を選ぶとしたこともありましたが。そんな時に郷里の出身であられる伊藤道海禪師を思い浮かべさせて頂くのであります。私の家の直ぐ近くのご出身で、貧農にもめげず苦学苦行の末に総持寺貫主となられ、鶴見総持寺の伽藍再建や女子教育、医療事業、平和貢献に尽力されました。

この度、瑩山禪師七〇〇回大遠忌を記念して伊藤道海禪師のご功績を讃え、ご出身の地に多くの方々のご賛同で顕彰生誕地記念碑を建立させて頂くことになりました。私自身、顕彰碑に手を合わせることにより人生の不安を達磨大師のお教えに少しでも近づくことが出来るのではないかと思います。



◆大本山永平寺・總持寺参拝の旅◆インド仏跡巡拝の旅◆観音霊場・四国巡拝など
仏教界随一の団体参拝旅行会社



新潟ビーエス観光

You Tube チャンネル開設いたしました。
下記QRコードより是非ご覧ください。

〒940-0041 新潟県長岡市学校町3-12-4
TEL 0258-34-4848 FAX 0258-34-0227



株式会社花安新発田斎場 から 株式会社 花安 へ

地域に寄り添い縁をつなぐ

HANAYASU
Group

■本社 〒959-2311 新潟県新発田市荒町甲 1521 フリーダイヤル：0120-463-556 FAX：0254-24-5156

御誂 法衣・袈裟・白衣・作務衣・頭陀袋 専門処

創業 60余年 (株)坂口衣芸工房

〒501-6236 岐阜県羽島市江吉良町1115番地
TEL 058-392-3121 FAX 058-392-5589
Yahoo!ショップはこちら！
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/sakaguchiikeikoubou/>

LINE



@577jpvuq

インスタ



SAKAGUCHIKEIKOUBOU



新潟県新発田市荒町甲 1521

剱邸 越の里
TEL 0254-32-3030
www.koshinosato.com

自由の海 華風
TEL 0254-32-1515
www.kahou.com

自由の海 泉慶
TEL 0254-32-1111
www.senkei.com

仏壇・仏具・墓石・寺院用仏具 製造販売

伝統を受け継ぐ心
新たな美を創造する
知恵と技

匠の製造工房



放光

*本社・工場/〒940-0825 新潟県長岡市高畑町 6 1 7 ☎0258-33-5644



*民間ギャラリー



*新潟店

曹洞宗専門

全国曹洞宗法衣同業会々員
梅花講指定店

(有) ねむ吉澤

〒959-2003 新潟県阿賀野市安野町 3-30
TEL (0250) 62-2291 ☎ FAX (0250) 63-1333

教化だより

◆令和6年度教化関係事業（宗務所関係）

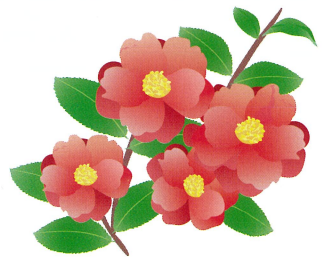
月	日	曜日	事業名	会場	参加者	備考
4	2	火	監査会	宗務所	5	午前10時 宗務所 / 護持会 / 梅花講
	3	水	人権委員会	月岡温泉 ホテル泉慶	35	午後1時30分
			決算所会			午後2時30分
			予算所会			決算所会後
			合同役員会			午後6時
5	24	金	婦人会評議員会	宗務所	26	午後1時30分
	24	金	布教委員会	宗務所	77	午前10時30分
			禅のつどい連絡協議会			午後1時
			教化指導員連絡協議会			午後1時30分
	30	木	布教師会総会・春季研修会	宗務所	25	講師：呉 定明老師
6	11～14	火～金	特派布教師巡回	各会場	多数	特派布教師2名
7			禅の集い	各会場	多数	
8	23	金	スポーツ大会	田上町総合公園YOU・遊ランド	18	
	26	月	布教師会夏季研修会	相圓寺	14	講師：土田雅穂氏
9	26～27	木～金	現職研修会	慈光寺・東龍寺	67	講師：青山俊董老師、慈光寺老師、東龍寺老師
10	8～9	火～水	寺族研修会	大本山總持寺祖院・永光寺	31	講師：永光寺・屋敷智乘老師、總持寺祖院・高島弘成老師、SVA・茅野俊幸老師・本庁派遣講師
	15	火	布教師会秋季研修会	瀬波大観荘	15	講師：高田都耶子氏
11	14	木	第1回企画委員会	ホテル泉慶	18	事業案・予算案・講師選定等
2	5	火	布教人権講習会	虹のホールしばた		講師：篠原鋭一老師
			第2回企画委員会			事業案・予算案・講師等
	19	月	婦人会役員会	宗務所		事業・会計報告、次年度予定等
	22	土	布教師会冬季研修会	秋葉区文化会館		講師：三部義道老師
			徒弟研修会	宗務所		僧堂安居予定者対象 内容：基本的作法等

◆令和6年度教化関係事業（管区関係）

月	日	曜日	事業名	会場	備考
6	20～21	木～金	教化指導員研修会	長岡市 アトリウム長岡	講師：茅野俊幸老師
		金～日	親子で学ぼう雲水体験	大本山永平寺	中止
8	28～29	水～木	管区布教講習会	富山市 とやま自遊館	講師：山口正章老師、晴山俊英老師
9	11～13	水～木	全国人権主事研修会	京都府 奈良県	人権主事
	27	金	教化セミナー	長野県安曇野スイス村サンモリツ	
11	11～12	月～火	教化センター教化活動推進委員会	石川県 ホテルゆ華	所長、教化主事
2	28～29	水～木	教化センター教化活動推進委員会	上越市ホテルハイマート	所長、教化主事

◆令和6年度特派布教師巡回表

A日程：神奈川県第2宗務所 正観寺住職 善浪裕勝 老師				B日程：秋田県宗務所 永泉寺副住職 猪股尚典 老師			
期 日	時間	教区	会 場	期 日	時間	教区	会 場
6月12日	午後	16	養 泉 寺	6月11日	午前	5	慈 光 寺
6月13日	午前	7	祥 雲 寺	6月12日	午後	1	法 幢 寺
	午後	11	光 宮 寺	6月13日	午後	8	養 廣 寺
6月14日	午前	14	寶 積 寺	6月14日	午後	2	正 法 寺
	午後	3	吉運堂サルナート				



◆令和6年度禅のつどい開催表

教区	団 体 名	開催会場	期 日	教区	団 体 名	開催会場	期 日
2	2教区青年会	高岩寺	7月25日～26日	17	17教区青年会	太總寺	7月26日
6	永谷寺早起き座禅会	永谷寺	7月24日～26日 0泊3日	18	真風会	茗荷寺	8月1日
8	8教区青年会	淵龍寺	8月18日～19日	20	村上市健民少年団お寺体験	善福寺	6月29日～30日
13・14	13教区14教区青年会	光源寺	7月29日	21	医泉寺なかよし子供会	医泉寺	8月4日
13	禅の集い for フードバンク新発田	光源寺	7月26日	23	23教区護持会	常楽寺	7月26日
14	宝昌寺子ども坐禅会	宝昌寺	8月25日				

庶務だより

◆慶弔報告（令和 5 年 12 月～令和 6 年 11 月までの申請）

謹んでお慶び申し上げます。

敬称略

寺番	寺院名	住職	法要	日程	首座
86	頼勝寺	石川 貴英	晋山結制	令和 6 年 5 月 5 日	明田川賢生
258	善福寺	細野 徳彰	晋山結制	令和 6 年 6 月 9 日	田村 邦宗
7	圓通寺	北上 善教	晋山結制	令和 6 年 10 月 20 日	恒田 裕孝
85	林昌寺	藤田 郁雄	晋山結制	令和 6 年 10 月 27 日	武藤 文楽
302	龍山寺	戸田 一彦	晋山結制	令和 6 年 11 月 10 日	山谷 健太

謹んでお悔やみ申し上げます。

寺番	寺院名	資格身分	ご芳名	示寂年月日	世寿(満年齢)
10	宗賢寺	徒弟	佐藤 賢秀	令和 4 年 12 月 21 日	92 歳
181	常福寺	寺族	荻野 幸	令和 5 年 7 月 17 日	97 歳
174	法正寺	住職	曾根 清隆	令和 5 年 11 月 20 日	65 歳
811	法雲寺	住職	橋本 法光	令和 6 年 2 月 24 日	80 歳
126	多宝寺	寺族	安達美代子	令和 6 年 4 月 11 日	94 歳
195	板山寺	寺族	石井 悌	令和 6 年 4 月 18 日	91 歳
218	法蔵寺	寺族	藤間 清美	令和 6 年 4 月 28 日	97 歳
12	宗通寺	寺族	青木 幸	令和 6 年 5 月 2 日	108 歳
77	寶珠寺	東堂	荻野 徳久	令和 6 年 5 月 14 日	86 歳
6	大榮寺	住職	五十嵐紀典	令和 6 年 5 月 19 日	83 歳
172	円福寺	同籍	磯辺 浩昭	令和 6 年 7 月 9 日	88 歳
189	東泉寺	東堂	吉井 道弘	令和 6 年 7 月 18 日	72 歳
119	西照寺	東堂	稲垣 延雄	令和 6 年 7 月 28 日	93 歳
127	正法寺	寺族	乙川 初枝	令和 6 年 9 月 2 日	93 歳

護持会だより

◆令和 6 年度宗務所護持会事業

月	日	曜日	事業名	担当	会場	参加者	備考
4	2	火	監査会	所・護・梅	宗務所	5 名	午前 10 時 宗務所 / 護持会 / 梅花講
	3	水	決算・予算所会	所	宗務所	33 名	午後 2 時 30 分
5	14	火	宗門護持会評議員会	本庁	宗務庁	2 名	午後 1 時 所長 護持会長
	22	水	護持会代議員会	護持会	宗務所	32 名	午後 2 時
6	11～14	火～金	特派布教師巡回	所	各会場	多数	特派布教師 2 名
	25～27	火～木	檀信徒本山研修会	護持会	大本山總持寺、大雄山最乗寺	53 名	講師：本山役寮、増田友厚老師
7	23	火	地方研修会(13～23教区)	護持会	聖籠町文化会館(担当17教区)	184 名	午後 1 時開会 瑩山紹瑾禪師 700 回大遠忌記念講演 講師：柴田康裕老師
	24	水	地方研修会(1～12教区)	護持会	聖籠町文化会館(担当9、10教区)	389 名	DVD「六代目三遊亭円楽 瑩山禪師の足跡を訪ねる」
11	13～14	水～木	檀信徒総括研修会	所	月岡温泉 ホテル泉慶	178 名	午後 1 時 30 分開会 瑩山紹瑾禪師 700 回大遠忌報恩授戒会 講師：増田友厚老師 丸山劫外老師
令和 7 年							
3	24	月	護持会役員会	護持会	宗務所		午後 3 時 30 分

墓石・仏壇・仏具・記念碑・石工事一式



仏壇 墓石 いしこう 光

株式会社 石光 村 上 本 店 〒958-0866 新潟県村上 市村上 568-2 TEL 0254-53-2700 FAX 0254-53-2701
展示場・工場 〒958-0261 新潟県村上 市猿沢 3494-2 TEL 0254-72-1540 FAX 0254-72-1543

管内宗侶の皆さまへ

「SOTOZEN-NET」の寺院専用
サイトへのご登録を。



宗務庁からの最新情報の取得、各種申請書のダウンロード、申請の仕方など様々にご活用できます。
特に申請書については宗務所から取り寄せるよりも速やかに利用できます。

曹洞宗 曹洞禅ネット SOTOZEN-NET 公式ページ
<https://www.sotozen-net.or.jp/>

梅花だより

◆令和六年度 宗務所梅花講事業報告

○梅花評議員会

三月二十八日「宗務所」にて開催、各教区評議員の参加いただき、宗務所梅花講の令和六年度事業計画を検討、予算をお伝えいたしました。

○特派巡回、特別講習会

六月十八日～二十二日まで、村松良周師範（秋田）、井出一成師範（長崎）、児玉誠竜師範（熊本）の三名の師範により、十三会場を巡回いただきました。各会場におきまして、特派師範の熱心な、ユーモア溢れる講習に好評のお声をいただきました。

二十一日には三名の師範による、「春季師範・詠範講習会」を二十二日には、初心者・未経験者講習会を村松師範の講師により開催いたしました。

○師範・詠範講習会

昨年度に引き続き、管内の梅花流指導者の研鑽・育成の場として、年間三回で計画し開催いたしております。ご一緒に梅花流の輪をひろげましょう。

○檀信徒地域講習会

新潟方面（一～十教区）、新発田方面（十一～十六教区）、村上方面地域（十七～二十三教区）の三つの地域で会場を順番に回しながら、年間計三回で計画し開催しました。

○検定前講習会

九月三十日「宗務所」を会場に、管内師範をお迎えして、検定曲を中心に講習会が開催されました。

○秋季梅花流講習会

十月十八日「北越後葬祭センター」にて、長野県大徳寺、畔上泰仁師範を講師にお招きして開催されました。五十九名の参加をいただき、基本所作から検定対応の幅広い講義を、和やかな雰囲気のもと、ご講義いただきました。

○宗務所検定会

十月三十日、「宗務所」に於いて五十三名の受検者がありました。緊張の中、真剣なお唱えが各会場に響いておりました。

○梅花流奉詠大会

十一月二十七日「聖籠町文化会館」に於いて、第二十五回奉詠大会が開催されました。「仏弟子として歩む梅花の道」太祖さま七〇〇回大恩忌のテーマのもと総勢二百四十名の参加で、登壇奉詠と午後からは、梅花授戒会を厳修し荘厳な雰囲気の中、所々に梅花を奉詠してお血脈を頂き佛縁を深めました。

◆宗務所講師派遣講習会のご案内

第四宗務所梅花流講師が皆様の講習会出張講習に伺います。
いろいろな講師の方とつながり、梅花の輪を広げましょう。
詳しくは、宗務所までご連絡ください。

◆予告

○令和七年度梅花流全国奉詠大会

令和七年五月十四日～十七日の日程で沖縄県沖縄アリーナに於いて「高祖常陽大師道元禅師 第二番御詠歌（梅花替節）」をお唱えいたします。終戦八十周年にあたり、平和を祈る大会という位置づけで開催されます。
那覇市内観光を中心に、首里城や美ら海水族館、平和祈念公園に於いて新潟の塔での慰霊を行う行程となっております。

また今大会は梅花講師だけでなく、一般檀信徒皆様も一緒に、平和を祈念しご詠歌をお唱えいただく大会となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

◆令和6年度梅花流師範巡回日程表

秋田県宗務所 正伝寺 村松 良周 師範			長崎県第一宗務所 福壽寺 井手 一成 師範			熊本県第二宗務所 無畏菴 児玉 誠竜 師範		
6月	教区	会場	6月	教区	会場	6月	教区	会場
18日	5	英林寺	18日	21	徳蔵寺	18日	16・17	常勝寺
19日	7	祥雲寺	19日	20	諸上寺	19日	11	瑞雲寺
20日	3	サルナート吉運堂	20日	18	大雄寺	20日	13・14	金蘭荘
21日	1	大榮寺	21日	1	大榮寺	21日	1	大榮寺
22日	2	宗務所						

仏壇・仏具 専門店

仏壇乃渡部

新潟市秋葉区中野 3-11-11
〒956-0805 TEL 0250-21-3577

葬祭・仏壇・墓石・ギフト・葬儀保険「千の風」

株式会社 曾屋

村上本店 村上市上助淵1777-4 TEL0254-52-1101(代)
胎内店 胎内市大川町3215-1 TEL0254-44-8611
ペルホール 曾屋 村上・坂町・胎内 ☎0120-04-4449
安積第1ホール 村上 村上市上助淵1793-1
町屋ホール 村上 村上市大町4-1 TEL0254-52-6035

人権だより

◆令和六年度人権活動報告

四月三日

人権委員会

六月二十五日～二十七日

檀信徒本山研修会

本山役寮による法話

七月二十三日・二十四日

檀信徒地方研修会

・北朝鮮拉致問題

署名・ブルーリボン活動

聖籠会場二日間で百二十八筆の署名、

二万三千五百円(ブルーリボン四十七

個)の御協力を頂きました。

・災害義援金十八万三千七百七十二円

の御協力を頂きました。

九月二十六日・二十七日

現職研修会

・講義 被差別戒名について 人権主事

・被差別戒名物故者諸精霊追善法要

十月八日・九日

寺族研修会

・講義Ⅲ「和合和睦の思い」能登半島

地震と瑩山禅師のみ教え」

大本山總持寺祖院 副監院

高島弘成老師

・講義Ⅳ「能登半島地震から学ぶ」

「輪島市門前町支援を通じて」

長野県瑞松寺住職 SVA副会長

茅野俊幸老師

・能登半島災害物故者法要

並びに 復興祈願法要

◇研修会参加者より災害義援金をお預かりし、大本山總持寺祖院様、石川県宗務所様へそれぞれ五万円をお渡ししました。

十一月十三日・十四日

檀信徒総括研修会

・北朝鮮拉致問題

署名・ブルーリボン活動

三十筆の署名、一万五百円(ブルーリ

ボン二十一個)の御協力を頂きました。

・災害義援金二万七千七百円の御協力

を頂きました。

十一月二十七日

第二十五回第四宗務所梅花流奉詠大会

・北朝鮮拉致問題

署名・ブルーリボン活動

四十九筆の署名、二千五百円(ブルーリ

ボン五個)の御協力をいただきました。

・災害義援金一万七千七百七十六円の御

協力を頂きました。

◇災害義援金より、令和六年一月一日

に発生しました「能登半島地震」により

被災されました管内の各寺院様(二

十二ヶ寺)に対して、合計五十七万円

をお渡しさせて頂きました。また、大

本山總持寺祖院様・石川県宗務所様へ

それぞれ二十万円、公益社団法人シャ

ンティ国際ボランティア会(SVA)様

へ五万円をお送りさせて頂きました。

婦人会だより

◆ご報告、北信越管区婦人会研修会に つきまして

令和六年十月九日に予定していました北信越管区婦人会研修会につきまして、本年は石川県宗務所管内での開催予定でありましたが、能登半島地震による影響の為、中止となりました。

また開催予定日でありました十月九日、總持寺祖院に石川県の婦人会評議員の皆様にお越しいただき、太祖堂にて横断幕の授受式を厳修し、当婦人会でお預かりいたしました。さらに、この横断幕の授受式をもって、今回、開催を断念した石川県婦人会の思いを引き継いで来年度、新潟県第四宗務所婦人会にて北信越管区研修会を開催したいと思っております。なお、北信越管区研修会は令和七年十月十五日・十六日、月岡温泉「白玉の湯泉慶」にて開催いたします。



石川県宗務所婦人会 高島会長から当宗務所婦人会 関根会長へ横断幕が手渡されました。



相 承

S O J O

大いなる足音がきこえますか

大本山總持寺 開山太祖瑩山紹瑾禪師 七〇〇回大遠忌年を迎えて！



太祖様七〇〇回大遠忌にあたり令和6年度は様々な特別行事が行われました

動画公開中

法要の様子を公開しています。宗務所のホームページからアクセスできます。どうぞご覧ください。

檀信徒本山研修会

◆日時／6月25日～27日 ◆会場／大本山總持寺、最乗寺他 ◆対象／主に檀信徒

一日目は大本山總持寺での一泊研修会。開講式、法話、人権学習、薬石（食）、夜坐。翌日は三時二十分振鈴（起床）、暁天朝課（朝の坐禅とお勤め）、閉講式と研修。二日目は鎌倉で建長寺、鶴岡八幡宮、鎌倉大仏を参拝、三日目は大雄山最乗寺で拝登諷經を勤め、増田友厚老師よりご法話を賜りました。



朝 課



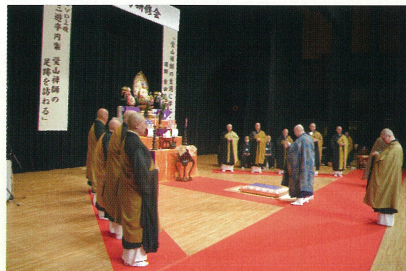
大祖堂前において



檀信徒地方研修会

◆日時／7月23日・24日 ◆会場／聖籠町文化会館 ◆対象／主に檀信徒
◆担当教区／9・10教区／17教区

開講式仏祖諷經に続き、太祖常済大師瑩山禪師影向御和讃、太祖常済大師瑩山禪師影向第一番御詠歌（伝光）が唱えられました。講演では大本山總持寺単頭、柴田康裕老師より「瑩山禪師のご生涯に学ぶ」の演題でお話をいただき、また「三遊亭円楽 瑩山禪師の足跡を訪ねる」の上映が行われました。



開 講 式



講演 柴田康裕老師



▲動画はこちらから



▲詳細はこちらから

現職研修会

◆日時／9月26日・27日 ◆会場／五泉市 慈光寺、田上町 東龍寺
◆対象／管内宗侶

開講式・講義Ⅰ～Ⅳ・「被差別戒名物故者法要（人権学習）」に引き続き「太祖瑩山紹瑾禅師七〇〇回大遠忌本法要」が行われました。特に1日目午前の講義において、大本山總持寺西堂・愛知専門尼僧堂堂頭でもある青山俊董老師より講師をお勤めいただきました。



青山俊董老師



太祖さま七〇〇回大遠忌本法要



▲詳細はこちら

寺族研修会

◆日時／10月8日～9日 ◆会場／石川県羽咋市 永光寺、大本山總持寺祖院
◆対象／寺族

太祖瑩山禅師七〇〇回大遠忌の年に当たり、太祖さま所縁の地である永光寺ご住職で石川県宗務所長をお勤めの屋敷智乗老師より、また、大本山總持寺祖院において副監院である高島弘成老師より太祖さまについてのご講義を賜りました。



屋敷智乗老師



高島弘成老師



▲詳細はこちら

檀信徒総括研修会

◆日時／11月13日～14日 ◆会場／月岡温泉 ホテル泉慶 ◆対象／主に檀信徒

一日目に所沢市 吉祥院住職 丸山劫外老師と南足柄市 最乗寺山主 増田友厚老師よりご講演賜りました。

二日目の研修では、「瑩山紹瑾禅師七〇〇回大遠忌報恩授戒会」が執り行われました。増田友厚老師より説戒師をお勤めいただきました。戒師は阿部所長が勤め、「授菩薩戒式」が執り行われました。



増田老師より説戒



戒師より御血脈をいただく



▲詳細はこちら

第25回梅花流奉詠大会 大遠忌報恩梅花授戒会

◆日時／11月27日 ◆会場／聖籠町文化会館 ◆対象／主に梅花講員

梅花流奉詠大会において、大本山總持寺をお開きになられました太祖瑩山紹瑾禅師七〇〇回大遠忌の報恩事業として、「梅花授戒会」を併修しました。

授戒会では、説戒師に市村副所長、戒師に阿部所長が勤め、「説戒」や「授菩薩戒式」の各儀式が営まれました。
※詳細は18～19ページをご覧ください。



御詠歌お唱えの中導師上殿



授菩薩戒式



▲詳細はこちら



チャンネル登録をお願いします。

・宗務所HP内の「テレホン（WEB）法話」のカテゴリ、またYouTubeチャンネルからもお聞き頂けます。

・電話番号
〇二五〇・四七・三三三

次年度もお聞き頂く方の心に寄り添い、そつと温めることができるような法話をお送り致します。
ぜひ多くの皆様にお聞き頂きたく、ご案内申し上げます。

太祖さま七〇〇回大遠忌記念として、テレホン（WEB）法話「和尚さんの言の葉」を開設致しました。昨年度より新潟第1宗務所様、管内布教師、布教師会と連携を図りながら研修を重ね、講師指導のもと法話者が法話作成を行い、宗務所では手探りの中、録音・編集・放送・配信を行って参りました。大変多くの皆さまからお聞きいただいております。

テレホン（WEB）法話
「和尚さんの言の葉」開設



▲詳細はこちらから



テレホン法話 録音風景



テレホン法話に関する研修会

お仏壇
お墓
寺院用具

手を合わせるのは、人だから。



よし うん どう
吉運堂

☎ 025-372-1138 (代)

本社 新潟市南区戸頭1347-1
<http://www.yoshiundo.co.jp>

県内唯一の伝統継承



白根本店/新潟市南区根岸1511 Tel 025-362-1657



新潟市内・近郊に11ホール

白根、富月橋、青山、寺尾、大形、石山、空港通り、女池、巻、吉田・弥彦、燕

☎ 0120-108-401 24時間365日受付中

曹洞宗専門

株式会社 辻法衣仏具店

〒601-8392

京都府京都市南区吉祥院内河原町6-16

tel + fax : 050-3673-1631



KYOTO

寺院用佛具
佛壇佛具
美術品

兒玉佛具店

兒玉高周

●中町店 山形県酒田市中町1丁目4-6
電話 (0234) 22-0298 (番代)

●東町店 山形県酒田市東町1丁目25-21
電話 (0234) 24-6118 (番代)

特製金襴・本場米沢織 / スーパーロック・シルキーワン製造元

両大本山御用達

筭井筒屋

蓮から化繊まで自社開発にて行う品質管理

山形本店 [9時-18時] ☎ 0120-122-894 山形県山形市本町2-4-10
横浜鶴見店 [10時-17時] ☎ 0120-401-565 神奈川県横浜市鶴見区寺谷1-7-1 1F
九州営業所 佐賀県鳥栖市本島町615-1

<https://dutsuya.co.jp>

最後の思い出をお手伝い
JA 葬祭
さつきホール・さつき会館
年中無休 受付
☎ 0120-409-832
にじゅうよじかんおくやみに
事前相談も随時承っております。ご心配やご不明なことは何なりとご相談下さい。
株式会社 JAライブ新潟 新潟営業所 〒956-0816 新潟市秋葉区新津東町1丁目318 番地1
TEL 0250(24)0983 FAX 0250(24)9236

令和6年度第四宗務所研修テーマ 『大いなる足音を繋ぐ』



檀信徒本山研修会

期日：6月25日(火)～27日(木) 会場：大本山永平寺

1日目・2日目講師：柴田康裕老師、本山講師 3日目講師：増田友厚老師

檀信徒本山總持寺研修に参加して

第十八教区 長谷部 善一
應庵寺檀信徒

菩提寺の方丈様より、本山研修の話をいただいて、しかも夫婦でいかがですかとお勧めです。妻とも相談して、折角の機会なので参加することといたしました。

初めての体験なので勝手がわからず、何事にも準備を欠かさない妻は研修先の社務所に電話をして「ドレスコード」と「研修内容の詳細」を確認して洋服や数珠など様々な準備をして研修の途に就きました。

バスで約八時間の道中でしたが、車中は和やかで、帯同して面倒を見ていただいた各お寺様の気配りや参加者の皆様（初対面の人がほとんど）の人柄もあって、とても短く感じました。

さて、いよいよ本山に到着です。広大な境内と凛とした空気の中に建立している寺社殿などは、「莊嚴」の一言に尽きるいで立ちで、圧倒されました。

開校式、説法、人權教育などを経て夜は坐禅です。初めて坐禅を組みましたが、行う前は、「無心にならなければ」と思い込んでいましたが、浮かんでくるさまざまな雑念を深く考えず、そのような思惑や欲にとらわれないことが肝心と教わり、坐禅中はいろいろなことが頭に浮かびましたが、自分ではうまくそれを流し、気持ちを整えることができたような気がいたしました。

翌朝が早いことから、消灯は九時、翌日は三時三十分起床と朝が苦手な小生ですが何とか起床し、坐禅で気持ちを整えてから大祖堂（本堂のようなところ）で朝課（朝のおつとめ）に参加させていただきました。

千畳ほどある大祖堂で四十数名の僧侶の方々が、静寂ななか、一心にお経を唱え堂内に響き渡る様は、莊嚴な異次元空間のようでした。また、大般若転読では、修行僧と思われる方々が経本を各僧侶の皆様に配る動きが、きびきびして規律正しく行われ（コミカルな一面も）、相当の鍛錬を積んだものと思料され、感動いたしました。

早朝の冷気も手伝ってか、朝課はとても清々しい気持ちになりました。

總持寺には著名人の方も埋葬されていて、隙間時間に、石原裕次郎さんとアントニオ猪木さんのお墓にお参りすることができました。

研修を通じて感じたことは、坐禅がとても気に入ったことです。気持ちがすっきりするので、時間をみつけ今後も行いたいと思います。また、朝課を体験できたことはこれからの人生の歩みに影響しそうだと感じました。

終わりに、引率していただきました宗務所役員の方々の皆様並びに、研修参加者の皆様、大変お世話になりました。皆様のおかげで楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



大雄山最乗寺にて



薬石（夕食）



大本山總持寺にて開講式



檀信徒地方研修会

期日：7月23日(火)・24日(水) 会場：聖籠町文化会館

講師：柴田康裕老師



開 講 式



柴田康裕老師による講演



各地より多くのご参加をいただきました



檀信徒総括研修会

期日：11月13日(水)・14日(木) 会場：月岡温泉ホテル泉慶

講師：増田友厚老師



参加者(戒弟)へ御血脈が手渡される

一日目には開講式後、所沢市吉祥院住職 丸山劫外老師より「なんのために生きるのか」、南足柄市 最乗寺 山主 増田友厚老師より「大慈悲心の誓願に生きられし瑩山禪師」と題して、それぞれ講演賜りました。

二日目の研修では、「瑩山紹瑾禪師七〇〇回大遠忌報恩授戒会」が執り行われました。増田友厚老師より説戒師をお勤めいただき、「授戒について」と題しお話を賜りました。また、戒師は阿部所長が勤め、「授菩薩戒式」が執り行われました。

この度の「檀信徒総括研修会」は、参加者として総勢一四七名を数え、非常に多くの方々よりご参加頂くことが出来ました。また、授戒会(因脈会)の開催もあり、皆様の多大なるご協力により、無事に円成することが出来ました。



講義 増田友厚老師



講義 丸山劫外老師



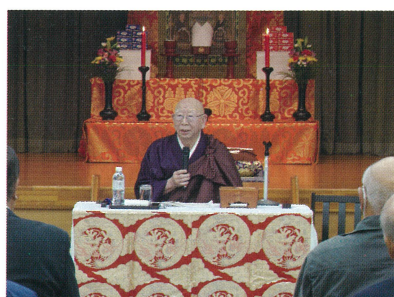
栗原護持会長挨拶



阿部所長が戒師を勤め、授菩薩戒式が行われた



真剣な表情の戒弟(参加者)の皆さん



説戒師 増田友厚老師



現職研修会

期日：9月26日(木)・27日(金・友引) 会場：慈光寺、東龍寺、湯田上温泉わか竹
講師：慈光寺老師、青山俊董老師、渡辺宣昭老師、本庁講師

現職研修会に参加して

第四教区 正善寺徒弟 山田 友幸

この度は慈光寺様と東龍寺様で行われた現職研修会に参加させていただきました。ありがとうございます。

青山俊董老師の御講義は、普段あまり意識していなかった事であり、とても興味深いものでした。人間が生きていくことのできる環境、底辺の微生物から植物・動物、そして両方の命をいただくことで生きている人間による生態のピラミッド。そのピラミッドもまた地球と太陽だけではなく、全宇宙空間のバランスの上に成り立っており、全てが全ての為にある。サムシンググレートあるいは縁起という考え方が重要なのだと感じました。また、そういった真実に気付くことが出来るのは人間のみ。そして教えに出会えても、それに気付いているだけのアンテナを自分が持っているか、その教えを受け取れる受け皿が自分にあるのか、あったとしてどれくらい大きなものかと考えさせられました。受けが難き人身を受けたるのみにあらず、遇い難き仏法に遇い奉れり」という道元禪師のお言葉を常日頃より意識し、自身の受け皿をより大きく深くしていく必要を感じました。私は何もわからないまま仏門に入り得度し数年が経ちましたが、まだまだ学んでいかなければならない事が多く、これからも少しでも今より前に進めるように日々の修行に励んでまいります。



越後四箇道場 慈光寺



開講式



青山俊董老師



寺族研修会

期日：10月8日(火・友引)・9日(水) 会場：永光寺、大乘寺など
講師：各寺堂頭老師、本庁講師

寺族研修会に参加して

第二十教区 諸上寺族 鈴木 志保

一日目は、瑩山禪師が鎌倉時代に創建された永光寺を拝見いたしました。各建物の中庭を囲むようにして回廊が結ばれていて、曹洞宗の典型的な様式だそうでした。そして長い階段を上り、法堂の後ろに位置する開山堂である伝燈院を案内していただきました。参拝する際には、直前に入堂するという作法があり、鐘の響きを感じながら、有難くお参りさせていただきます。午後からは、染谷老師の講義で、瑩山禪師の御生涯について学びました。瑩山様のご修行と教化の根源には、お母様の観音信仰と深い結びつきがあることを再認識いたしました。二日目は、能登の總持寺祖院を拝見しました。到着するなりと登り、外に石灯籠が倒れていたり、崩れ、石畳はめくれ上がり、回廊は崩れ、二〇〇七年の高島老師のお話では、二〇〇七年の地震で大きな被害を受け、寄付などで四十億円が集まり、復興したばかりだったそうでした。耐震化されたばかりなのに、前回を上回る被害で、絶望が胸に押しつぶさる思いでした。同じように再建するのは難しいが、祖院は宗派を問わずに能登のシンボルなので再建に向けて頑張るとおっしゃっていました。この度は、大遠忌正當に因み、太祖様の縁のお寺を拝見し、教えを学び、また、能登半島地震に寄り添う心を深めることができた、大変有意義な研修に参加させていただきました。



地震の爪跡がいまだに残る伽藍



大本山總持寺祖院にて



永光寺にて

写真で振り返る 宗務所行事



2月6日 布教人権講習会 嶋澤亜弥子 氏（前年度）



2月6日 布教人権講習会 渡邊祥文 老師（前年度）



4月2日 監 査 会



2月20日 梅花一泊講習会（前年度）



4月3日 所会にて令和6年度能登半島地震物故者法要



4月3日 決算予算所会



4月23日 梅花流師範会総会・春季講習会



4月19日 梅花流第一回師範・詠範講習会



4月24日 婦人会評議員会・研修会
蓮ワーク作り



4月24日 婦人会評議員会・研修会



5月22日 護持会代議員会



5月15日 梅花流第1回檀信徒地域講習会



5月24日 教化指導員連絡協議会



5月24日 布教委員会



6月13日 特派布教師巡回 猪股尚典老師



5月30日 布教師会総会・春季研修会



6月19日 梅花流特派師範巡回 児玉誠竜老師



6月14日 特派布教師巡回 善浪裕勝老師



6月20日 梅花流特派師範巡回 村松良周老師



6月20日 梅花流特派師範巡回 井手一成老師



6月22日 梅花流初心者・未経験者講習会



6月21日 梅花流春季師範詠範講習会



8月26日 布教師会夏季研修会
フードバンク 土田雅穂 氏



8月23日 スポーツ大会



9月4日 梅花流第二回師範詠範講習会



8月26日 布教師会夏季研修会
法話者による発表



10月15日 布教師会秋季研修会 高田都耶子 氏



10月8日・9日 寺族研修会



11月14日 第一回企画委員会



10月30日 梅花検定会（検定前風景）

寺院情報ソフト



株式会社 ライフサポート北越後 葬祭センター

☎ 0120-21-5800 (24時間受付) 〒959-2451 新発田市下中38番地39

JA葬祭 虹のホールしばた東 〒957-0055 新発田市諏訪町1-11-11
JA葬祭 虹のホールしばた 〒959-2445 新発田市館野小路141-1
JA葬祭 虹のホールたいない 〒959-2600 胎内市久保田30番地

第25回梅花流奉詠大会

大遠忌報恩梅花授戒会 開催

◆大会テーマ

「仏弟子として
歩む梅花の道」

令和6年11月27日
聖籠町文化会館

令和6年は、大本山總持寺太祖
瑩山禪師七〇〇回大遠忌というこ
縁の年。瑩山禪師さまは、この曹
洞宗門の授戒会の基礎を築かれ多
くの仏弟子を育てられました。梅
花曲「太祖常済大師瑩山禪師修行
御和讃」にも授戒の一節が詠われ
ており、「御授戒御和讃」という曲もあります。
午前中に新潟地区、新発田地区、村上地区、師範詠範による登壇奉
詠が行われました。午後からは梅花報恩授戒会が行われ、戒師を阿部
所長、説戒師を市村副所長が勤め、多くの梅花講員さまに仏さまのお
諭しである「戒」を受けていただきました。

▶開会宣言



▲導師上殿



▲開会式



▲詠讃師による奉詠



▲所長挨拶



▲各地区より多くの講員が集う



▲詠讃師による奉詠



▲まもなく登壇です！



▲お誓い



▲祝辞 乙川良介老師



▲登壇奉詠 村上地区



▲登壇奉詠 新発田地区



▲登壇奉詠 新潟地区



▲講評 須戸秀圓老師



▲師範詠範による奉詠



▲司会進行

「授戒とは…」

お釈迦さまは仏教徒としての生き方を教えています。それを戒法といいます。曹洞宗において戒とは、深い信仰に根ざした生活を送る決意を促す教えです。曹洞宗では最も基本的な十六力条の教えを授け、それを守り続けることを誓う、そのような仏弟子となる大切な式をお授戒といいます。仏弟子になることで、その証明としてお血脈をいただく式でもあります。



▲大遠忌報恩梅花授戒会



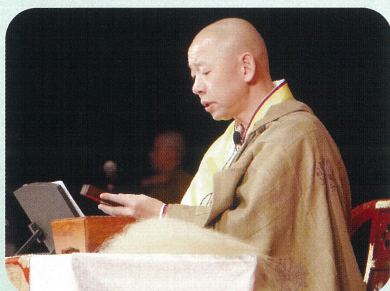
▲真剣な表情の戒弟(参加者)の皆さん



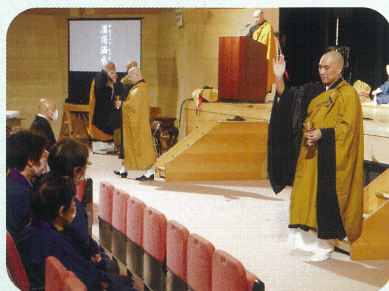
▲師範詠範のお唱えの中、戒師上殿



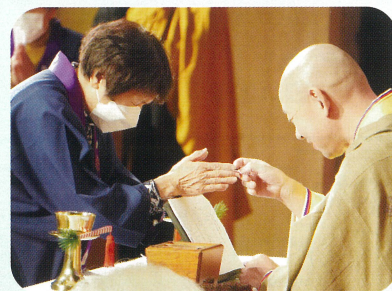
▲説戒 市村老師(副所長)



▲十六条戒の授与



▲灌頂洒水



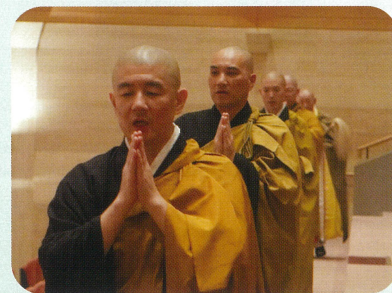
▲小罪無量



▲血脈授与



▲血脈とは



▲お唱えをしながら戒場を廻る



▲能登半島地震チャリティーバザー



▲閉会 フィナーレ



▲戒師による垂示

令和6年度開設

曹洞宗新潟県第四宗務所

大本山總持寺開山太祖瑩山禪師七〇〇回大遠忌記念

テレホン (WEB) 法話



和尚さんの言の葉



0250-47-3132

年中無休 24時間

宗務所HP内からもご視聴になれます



放送予定表

1月1～10日	新潟市江南区	大 宗 寺	森田 拓磨	2月21～28日	新発田市	高 徳 寺	大橋 申候
1月11～20日	五 泉 市	永 明 寺	藤井 貫之	3月1～10日	新潟市東区	延 命 寺	薄田 孝道
1月21～31日	新発田市	白 蓮 寺	関根 大剛	3月11～20日	阿賀町	観 音 寺	稲垣 大應
2月1～10日	新発田市	常 勝 寺	栗橋 一徳	3月21～31日	新発田市	善 積 寺	佐藤 孝紀
2月11～20日	阿賀野市	瑠璃光院	柴田 正敏				

《令和6年度事業のお知らせ》

布教人權講習会

- ◆日 時 2月5日(水)
- ◆講 師 千葉県 長寿院 住職 篠原鋭一 老師
- ◆場 所 虹のホールしばた
(新発田市館野小路141-1)

詳細は教区長様よりご案内の配布がございます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

掲示板



- ・音響設備(ワイヤレスマイク&スピーカー)の貸出を行っております。行事、研修会や講習などにお役立てください。音質も良く大変好評をいただいております。
- ・坐禅パンフレットございます。檀信徒向け、御自坊の坐禅会などにご活用ください。

より多くの方に宗務所行事を知っていただくための思いから、今回は「写真の多い所報」をテーマに作成しました。また、宗務所HPにも簡単にアクセス出来るように、所々にQRコードを付記しました。ご覧いただければ幸いです。

さて、四年間の任期のちょうど半分が過ぎました。振り返れば有意義な事業が目白押しで、ひとつの事業が終わって余韻に浸る暇もなく、次の事業、次の事業...と取り組んでいたように思います。そのような中で「準備大変でしたね、とてもいい研修会でしたよ!」との参加者の皆さまからいただく言葉に本当に励まされ日々の執務に就いていたように思います。

7年度も事業が目白押しです。宗務所軸である「和顔愛語」を胸に、管内の皆さまのお役に立てるよう精一杯取り組んでまいります。

教化合掌

編集後記

第四宗務所のホームページお知らせ

第四宗務所

宗務所の事業報告や事業計画が掲載されております。

(事業計画は所会後の掲載となります)

HP <https://soto-niigata-4.jp>

